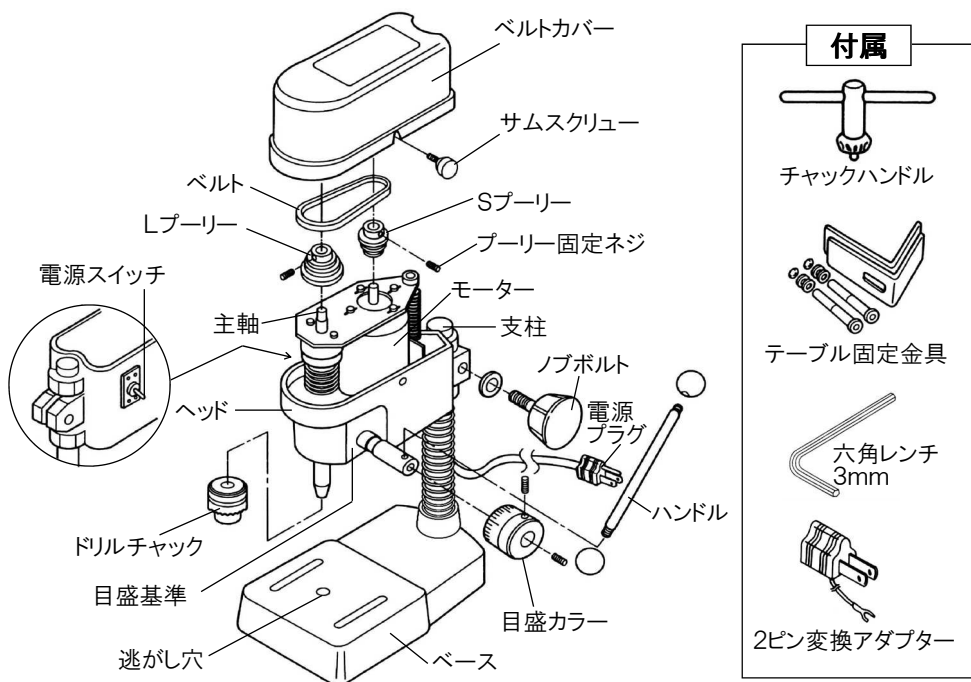


## K-16 デスクドリル

このたびはホーザン K-16 デスクドリル をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

### 各部の名称と入組明細



### 仕様

主軸回転数	1100/1600/2500/4200/ 6400/9600rpm	定格時間	連続(無負荷時)
	(プーリー・ベルト掛け換え方式) (60Hz)	主軸のテーパ	ジャコブスNo.1
穴あけ能力	鉄・非鉄 6.5mmφ	主軸の最大上下動	35mm
	主軸の芯ブレ	ふところ深さ	190mm
チャッキング径	0.5~6.5mmφ	チャック先端から テーブルまで	170mm
定格電圧・周波数	AC100V 50/60Hz	テーブルの作業面	180×180mm
消費電力	60W	外形寸法	210(W)×450(H)×340(D)mm
		重量	18.6kg

## 注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

**⚠警告** …重傷をともなう重大事故の発生を想定してのご注意

**⚠注意** …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

## ご使用上の注意

### ⚠ 警告

1. 定格使用時間を守ってください。定格使用時間を超えて使用すると火災や故障の原因になります。
2. 銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると火災や故障の原因になります。
3. 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。火災の原因になります。
4. 感電に注意してください。
  - ・雨中で使用したり、湿ったまたはぬれた場所で使用したりしないでください。
  - ・使用中身体を、アースされている電気機器などに接触させないでください。
  - ・必ずアースされたコンセントに接続して(アースを接続して)使用してください。
5. 無理な負荷をかけるとモーター部が発熱し、火災や故障の原因になります。
6. 作業中は手、目や顔をドリル刃やチャック周辺に近づけないでください。
7. 作業に適した服装で作業してください。
  - ・だぶついた衣服やネクタイ、長い髪の毛などは駆動部に巻き込まれる恐れがあります。
  - ・手袋を着用しないでください。
8. 保護メガネを着用してください。切削くずが目に入ると大変危険です。必要に応じ、防塵マスクを併用してください。
9. 電源コード、駆動部、可動部、カバー部、スイッチやその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか確認してください。異常がある場合はお求めの代理店に修理の依頼をしてください。
10. 本製品は該当する安全基準に適合していますので、絶対に改造しないでください。

### ⚠ 注意

1. 加工するものをしっかりと固定してください。必要に応じ、クランプなどの補助具を使用してください。
2. 無理な姿勢で作業しないでください。
3. ドリル刃などを交換する場合、使用しない場合、修理を依頼される場合、は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
4. ドリル刃などの付属品の取り付け、および交換は取扱説明書に従って確実に行ってください。確実にしないと、はずれたりしてけがの原因になります。
5. ベースはダイキャスト製です。固いものをぶつけたり、落としたりすると、割れ、へこみの原因になります。

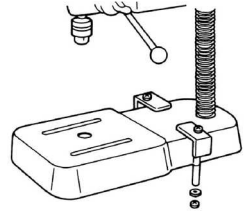
## ご使用上の注意

### ⚠ 注意

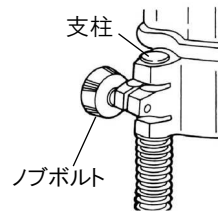
6. 本機は防水構造ではありません。水などをつけて洗ったり、ふいたりしないでください。とくに揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどは変形、変色の原因になります。
7. 衝撃や振動の多いところ、直射日光の下、結露の恐れのある場所、低温、高温、多湿の場所に長時間放置、保管しないでください

## 準備

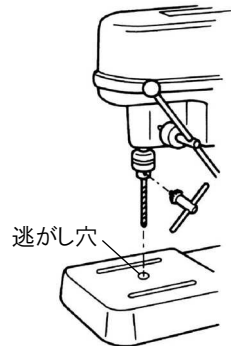
- 1 付属のテーブル固定金具を使用し、水平で安定した作業台にしっかりと固定します。



- 2 材料の厚さに合わせて本体の高さを調節します。ノブボルトをゆるめて、本体を適当な高さに移動します。引き上げる限度は支柱の上端が少し見える位置までです。高さが決まったら、しっかりとノブボルトを締めてください。



- 3 ドリル刃を取り付けます。ドリルチャック部分を手で押さえ、チャック部の横の穴に付属のチャックハンドルを差し込んで反時計方向に回してゆるめます。使用するドリル刃を挿入して軽くゆすりながらチャックハンドルでしっかりと締め付けてください。ドリル刃を取り付けた後、チャックハンドルを取り外してください。上下ハンドルを静かに最大限降ろしてみて、ドリル刃がベースの逃がし穴中央に入り、当たるものがないことを確認します。



※ ドリル刃は8ページ別売部品欄に記載の当社専用品、またはJIS準拠の同等品「ストレートシャンクドリル」のうち 0.5～6.5mm φ のものをご使用ください。

## 準備

- 加工するものをベースの上に固定します。  
別売のマシンバイス(K-26)や市販のクランプを使用して、しっかりと固定してください。
- 電源スイッチが切れていることを確認して、電源プラグを壁面コンセントに接続します。

### ⚠ 注意

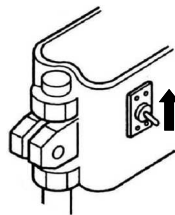
- ・ 二極接地つきコンセントに接続してください。2ピン変換アダプターを使用の場合は、必ずアース(接地)してください。アース施設がないときは、別にアース棒などを使用したアース工事を工事業者に依頼し、確実に接続してください。
- ・ 電源プラグをコンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認してください。電源スイッチが入ったままコンセントに接続すると危険です。

## ご使用方法

### ⚠ 警告

- ・ 電源を入れる前にチャックハンドルを取り外してください。振り飛ばされる恐れがあります。
- ・ 巻き込み事故防止のため、手袋は絶対に使用しないでください。
- ・ 目を保護するため、保護メガネを着用してください。
- ・ 急激にハンドルを降ろしたり、必要以上に押さえつけたりしないでください。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障やドリルの変形、破損事故の原因になります。

- 1 チャックハンドルが取り外してあるか、もう一度確認します。  
電源スイッチを入れます。



- 2 ハンドルをゆっくり降ろすと同時にドリルが回転します。  
穴あけ作業を始めます。

## ご使用方法

- 3 穴あけ作業が完了したら上下ハンドルをゆっくり上げます。  
ドリルの回転が止まります。

 **注意**

上下ハンドルから手を離すとバネの力でもとの位置に急にもどりますので、必ずハンドルに手を添えてゆっくりもどしてください。

- 4 作業終了後、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

 **警告**

電源スイッチがONになっていると、不用意にハンドルに触れることで主軸が回転を始めます。回転部付近に人体、物体があると回転部に巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。

- 5 作業終了後はドリル刃を取り外しておきます。  
電源コードが接続されていないことを確認して、チャックハンドルでチャックをゆるめて取り外してください。  
ベースの上の切りクズやホコリなども取り除いておいてください。  
次の使用に備えて、ネジ類のゆるみや各部の異常がないかを確認してください。異常は放置せずに、お求めの代理店に点検・修理を依頼してください。

## 穴あけ深さの調節

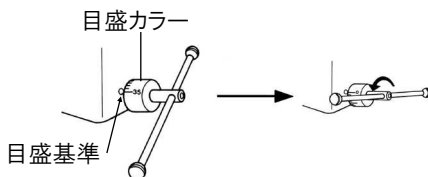
目盛カラーは穴あけ深さを決める目盛です。必要な穴あけ深さに応じてセットしてください。  
※目盛は目安です。正確な定規ではありません。

### 警告

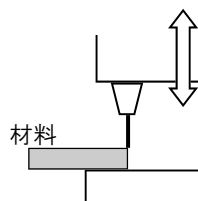
目盛カラーをセットするときは、電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。電源ONのままセットすると、けがをする恐れがあります。

工場出荷時は、主軸の上下動を35mmにセットしています。

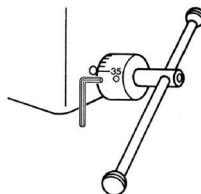
目盛カラーは35mmの位置でスタートし、ハンドルを最後まで回転させると、「0」の位置でストップします。



- 1 まず、本体高さを調節して、ドリル刃先端が材料に接するようにします。

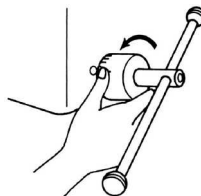


- 2 目盛カラーの止めネジを、付属の六角レンチでゆるめます。



- 3 目盛カラーをまわして、目盛基準に希望の穴あけ深さの数値を合わせます。

(例)「20」に合わせると、主軸の上下動が20mmになり、約20mmの穴あけ深さが得られます。



- 4 止めネジで目盛カラーを固定します。

# 回転数の変更

本機はあらかじめ回転数を2500rpm(60Hz)、2100rpm(50Hz)にセットしていますが、ベルトを架け替えることで

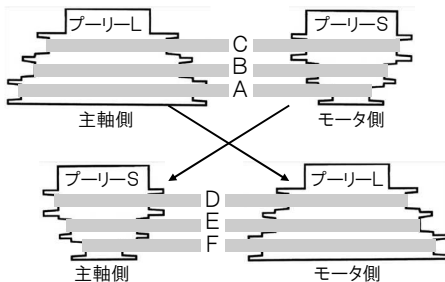
1100/1600/4200/6400/9600rpm(60Hz)、  
900/1300/3500/5300/8000rpm(50Hz)

に変更することができます。

## 警告

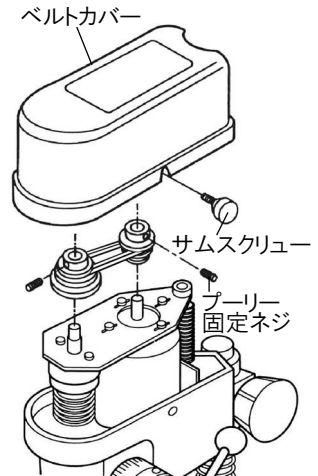
変速を行うときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。不意にスイッチが入り、けがをする恐れがあります。

- 1 サムスクリューを外してベルトカバーを取り外します。
- 2 LプーリーとSプーリーの各固定ネジを、付属の六角レンチでゆるめます。
- 3 ベルトが付いたまま、LプーリーとSプーリーを外します。
- 4 ベルトを架け替え、またはプーリーを移動します。  
6通りの変速ができます。



回転数	60Hz	50Hz
C	2500	2100
B	1600	1300
A	1100	900

回転数	60Hz	50Hz
D	4200	3500
E	6400	5300
F	9600	8000



- 5 希望の回転数にセットしたあと、プーリーにベルトを架けたまま、主軸とモータ軸にプーリーをそれぞれ差し込みます。
- 6 Lプーリー、Sプーリーの固定ネジを付属の六角レンチでしっかりと締め付けます。
- 7 ベルトカバーをかぶせ、サムスクリューで固定します。

## 注意

- ・ ベルトだけ上下に移動させる場合でも、必ずプーリーを外してください。
- ・ ベルトを無理に引っ張ると、のび、切断の恐れがあります。
- ・ プーリーを外すとき、差し込むときはベルトを架けた状態でお願いします。
- ・ ベルトは水平に架けてください。決して斜めに架けないでください。
- ・ プーリーを差し込むときは手で押さえ込んでください。ハンマーは決して使わないでください。

## 別売部品

### K-26 マシンバイス



### K-5 ドリルセット(7本組)

0.8/1.0/1.5/2.0/2.5/3.0/3.2mm φ

### K-493 ドリルセット(13本組)

1.5/2.0/2.5/3.0/3.2/3.5/4.0/4.5/  
4.8/5.0/5.5/6.0/6.5mm φ

### K-494 ドリルセット(19本組)

1.0/1.5/2.0/2.5/3.0/3.5/4.0/4.5/  
5.0/5.5/6.0/7.0/7.5/8.0/8.5/  
9.0/9.5/10.0mm φ

### K-495 ドリルセット(5本組)

0.5/0.6/0.8/1.0/1.2mm φ

※ チャッキング径が0.5～6.5mm φですので、その範囲外のドリルは装着できません。

技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎ 06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00・13:00~17:00】

補修部品については、web上のパーツリストをご覧ください。  
通信販売もご利用いただけます。

ホーザン 通信販売 **検索**

## ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024